

令和4年8月10日
消 防 庁**「新技術を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討会」の開催**

屋外貯蔵タンクの維持管理の高度化、点検作業のスマート化に資するため、「新技術を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討会」を開催することとしたのでお知らせします。

なお、本検討会は新技術のうちドローン等を活用した効果的な予防保全に関する調査検討を行います。

1 背景・目的

各保安分野では新技術の導入が進展しており、我が国の高経年化が進んだ大規模な屋外貯蔵タンクの点検においても安全性、効率性を高める新技術の導入により効果的な予防保全を行うことなど、スマート保安の実現が期待されています。

屋外貯蔵タンクの側板上部など高所の点検は、従来から目視点検を中心に実施されてきたところですが、詳細な点検を行うには、仮設足場やゴンドラ等の設置が必要であり、安全面や費用面に関する課題が残されていました。

近年、各種インフラ構造物等に対しては、撮影・測定機器等を搭載したドローンを活用した点検の導入により、点検作業の高度化、効率化に大きく寄与しています。

従来、屋外貯蔵タンク周囲には危険区域が設定されており、防爆型の製品開発が進んでいないドローンを維持管理点検に導入することは難しい状況であったところ、令和3年度に消防庁で開催した検討会において、定常時の屋外貯蔵タンクの周囲（タンク直上3mまでの範囲、溜めます部は除く。）には、引火・爆発危険のある濃度の可燃性蒸気は滞留しないことが確認されました。

このような状況を踏まえ、大規模な屋外貯蔵タンクの維持管理の高度化、点検作業のスマート化に向け、新技術のうちドローン等を活用した効果的な予防保全に係る検討を実施します。

2 検討項目

ドローンを活用した屋外貯蔵タンクの点検方法に関する事項等

3 スケジュール等（第1回開催予定）

日時：令和4年8月17日（水）9時30分から11時30分

場所：消防庁第一会議室（対面方式及びWeb方式による並行開催）

4 委員

別紙のとおり

**[連絡先]**

消防庁危険物保安室 合庭補佐、石井係長、嶋田事務官

TEL 03-5253-7524（直通） FAX 03-5253-7534

「新技術を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討会」委員
(五十音順)

江藤 義晴 四日市市消防本部 予防保安課長

瀬上 哲也 横浜市消防局 予防部 保安課長

田所 諭 東北大学 大学院 情報科学研究科 教授

辻 裕一 東京電機大学 工学部 機械工学科 教授

西 晴樹 総務省 消防庁 消防研究センター 火災災害調査部長

山田 實 危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター 統括調査役
(元 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 客員教授)